

に叫ばれる、如何に總聯合が全労働階級の間に切實  
なる要求があるかを語つて是を證左である。吾等は此階級  
的強力のために、總聯合の戦線、軌理統一のために、此  
總聯合の創成を衷心より冀ふ。而して吾等も是の成立の  
ために努力を惜しまぬのをほそい。然しながら、吾等は其の  
前提要件として、現在、各組合の産業別軌理が行進を  
行はざるは事と信ずる。各組合と虚心相壞、産業別  
に軌理合同した上でなくては強きなる總聯合の組織の可  
能は乏しいと云はれれば、總聯合が全労働階級の  
切實なる要求である限り必ず其の實現を見る。是は  
疑いなきが然も是の速度は其の前提条件たる産  
業別軌理の迅速、如何に懸つて行するのである。

同、

無産政党的の議題に對する吾等の態度は敢て決意し  
てある。即ち困難を排して階級的に政治闘争の基礎としての  
政党的組織を打ち立てばならぬ。即ち吾等の個々の日常闘  
争も階級闘争に発展せしめるために、是れと階級的戦  
闘としての政党的組織を打ち立てばならぬのである。政党的の基  
本的性格が階級的のものであることは勿論である。然るに  
無産階級の階級的自費の程度と、現時的勢力の程度と、  
政党的の階級的進化を多分に牽制するに足らぬ。此れが  
無産大家をして政党的にも経済的にも階級的に統合せしめる  
機縁となすものがある。去るは満足も求め、程度に即ち力  
性を有たしあつては充分の発展は困難である。其の自費  
的統合を以てする政党的無産階級の少数精銳分子の結合  
でなくとも、階級闘争の最後の闘争機縁となすものがある。